

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

児童発達支援
えだは



公表： 6年 2月 15日

事業所名 えだは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		・利用児童の人数によって活動環境の設定を行っている	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			・専門的な職員の増員を引き続き行っていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		・言葉で伝えることができるように遊具など手の届かない場所に設置している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		・支援目的に合わせ環境の設定をしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		・朝礼や空き時間にて情報共有等を日々行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>		・今回、初実施のため今後行っていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		・第三者による外部評価は現在行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		・定期的に施設内研修を実施している	・外部研修の参加を積極的に取り組む
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		・半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者に分かりやすく説明を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		・診断書や検査結果など保護者より情報提出して頂いている	・必要に応じて専門担当医との情報共有を行う
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		・日々子どもの状況に全職員と共有を行い細やかや支援に努めている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		・全職員で共有し、支援を行う	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		・児童発達支援計画書に沿った支援を行っている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		・専門職にて支援のバランスに配慮し、日常生活動作等の土台づくり、社会性育てることを大きな共通課題としている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	・児童発達支援計画に沿った専門職による個別指導活動、集団活動を日々組み合わせ支援を行っている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	・業務終了後に振り返りを行っている。次回の支援に繋げている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	・日々提供記録を取り、朝礼時や支援計画の作成時に活用している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>	・6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	・全職員で話し合い、実施	・活動のバランスに配慮し、年齢に応じた土台づくりと社会性を育てることを大きな共通課題としている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	・サービス担当者会議までに全職員で話し合い、情報共有・共通理解した上で児童発達支援管理責任者が参加	・専門的な職員の増員を行い、サービス担当者会議での参加ができるようにしていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	・常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	・現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していない	・受入れを行っていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	・送迎を行っている園では、送迎時に行うことができる ・見学や必要時児童発達支援計画書の提出を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	・現在行っていないため、今後必要時、行っていく	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	・担当者会議等で意見交換など行っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	・現在行っていないため、今後必要時、行っていく	・交流の場を計画し一人でも多くの人に参加できる様な調整を行う必要がある

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・現在行っていないため、今後必要時、行っていく	・積極的に取り組む必要がある
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・受入れ、受け渡し時や連絡ノートを通して実施 ・日々の保護者支援は行っているが保護者がより子どもの発達段階を理解できるように丁寧な説明を心がけて支援を行う	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・職員が行った子どもへの対処方法を保護者へ伝達し、家庭での困り事の対処へ繋げることができるよう共有する ・日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行い、また変更等ありましたら速やかにお伝えをしている	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・児童発達支援計画作成は、個人に合った細やかな課題設定になるように半年に1回見直しを行い、保護者の同意を得ている	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・必要に応じて話を聞く時間を設けるようにしている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・現在行っていないため、今後必要時、行っていく	・今後開催に向けて検討が必要である
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談窓口として苦情受付担当者を配置し契約時にご説明させていただき迅速に対応できる環境を整備している	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・年4回、えだは通信を発行し保護者や近隣の保育施設へ配付 ・SNS等を活用し活動の様子を伝えている	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報は鍵施錠の事務室内にて保管、管理している	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように支援している	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・現在行っていない	・今後開催に向けて検討が必要である	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		<input type="radio"/>	・今後、訓練の実施を行っていく ・年2回災害時、防火訓練を実施予定（15分程度）	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		・必要に応じて、医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のことについて、相談している。また、主治医の情報提供書を頂いている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	・食事提供は行っていない	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		・報告書の作成 ・事故ヒヤリが出た場合にはすぐに対応、分析するようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		・入社後必ず虐待防止研修会を開催している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		<input type="radio"/>	対象児童がいる場合は組織的に決定し、児童発達支援計画に記載を行う	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。